



PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number:

2000-316412

(43) Date of publication of application: 21.11.2000

(51)Int.CI.

A01K 29/00

(21)Application number: 11-167261

(71)Applicant: KAWAMURA SHUJI

(22)Date of filing:

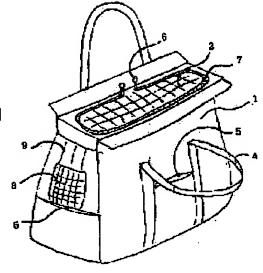
11.05.1999

(72)Inventor: KAWAMURA SHUJI

(54) SHOULDER BAG FOR CARRYING PET

(57)Abstract:

PROBLEM TO BE SOLVED: To solve the following problems and the like: (1) a pet-transporting heavy box difficultly to be carried makes the utilization of a conveyance of an electric train or a bus difficult as person not having a car must carry the box together with luggage and obligation fees are not inexpensive as making a pet regularly go to hospital must rely on a taxi; (2) daily being under medical treatment of a pet got hurt, or the like, burdens large economic load and; (3) a pet feels uneasy as the pet-transporting box is heavy and is carried with the box unstably swung in the hand. SOLUTION: When transporting a pet by bus or by electric train, a shoulder bag for carrying a pet and made of a light cloth is used so as for a woman or an aged to easily carry the pet without using a



box-type handbag. Since an upper lid is formed as a net window and therefore a pet can see the face of a keeper and can feel closeness to the keeper, the pet can avoid the fear of movement. Net windows are installed also in side walls of the shoulder bag in order to ease the pain of a pet as much as possible. In the lower half of the bag, a lightweight and tough material such as a styrofoam laminate having a cardboard liner is used in four sides and the bottom.

LEGAL STATUS

[Date of request for examination] [Date of sending the examiner's decision of rejection]

[Kind of final disposal of application other than the examiner's decision of rejection or application converted registration]
[Date of final disposal for application]
[Patent number]
[Date of registration]
[Number of appeal against examiner's decision of rejection]
[Date of requesting appeal against examiner's decision of rejection]
[Date of extinction of right]

Copyright (C); 1998,2003 Japan Patent Office

(19)日本国特許庁 (JP)

(12) 公開特許公報(A)

(11)特許出顧公開

特開2000-3

(P2000-3164 (43)公開日 平成12年11月21日・

(51) Int.CL?

識別配号

FI

ቻ--ኛ:

A01K 29/00

A01K 29/00

審査請求 未請求 菌求項の数4 書面

(21)出顯番号

物觀平[1-16726]

(71) 出廢人 000124513

河村 修治

(22)出版日 平成11年5月11日(1999.5.11)

愛知県春日共市中新町1丁目・

(72) 発明者 何村 修治

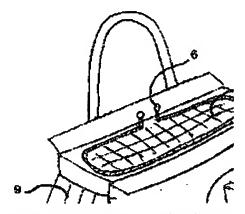
愛知県春日共市中新町 1 丁目・

(54) 【発明の名称】 ペット運びショルダーバック

(57)【要約】

【課題】 宣くて持ちにくいペット移動箱は、草を持たない人にとって、手前物を持った上に持つ事になり、バス、電車の乗り物を利用する事が困難であり、ペットの病院通いは、タクシーに頼るしかなく費用の負担が大きい。ペットの怪我など毎日の医者通いは経済的に大きな負担となっている。ペット移動箱は重く又手でぶらさげて持つため、不安定に揺れるためペットを不安がらせている。

【解決手段】ペットをバス 宮直で移動させる時 手に



http://www4.ipdl.ncipi.go.jp/NSAPITMP/web012/20050411145011099387.gif 4/10/2005

特闘2000-

2

1

【特許請求の範囲】

【請求項1】 ペットをバス、電車で移動させる時、手に持つ重い箱式の移動箱でなく、女性や老人に持ちやすいようにした。軽い布で作ったペット運びショルダーバック

【図1】に関するものである。

【請求項2】 蓋2を網の窓にした事で、ペットは飼い主の顔が見える事となり、飼い主が身近になったことで、移動の時の恐怖が避けられる。ショルダーバックの 満にも空気の通う網の窓をもうけるものとする。四方

【図3】と底

【図4】はハッポースチロールにボール紙などを張った 【図5】軽くて文夫いものを使用する。

【請求項3】 グサリはショルダーのひもに付け長いクサリは四方に設けたポケット5に入れるものとする。このポケット5に多少の手荷物が入りベットと一つになり、手があいたことで、乗り物の乗り降りが楽になり郊外への散歩が可能になった。乗り物から降りた時上部の網窓2を半分あける事も出来るものとする。

【請求項4】 ペット運びショルダーバックの中は洗濯 20 可能な布を敷くものとする。

【発明の詳細な説明】

[0001]

【発明に属する技術分野】本発明は車を持たない人達が、ペットをバス、電車の乗り物で移動させる時、手前物を持った上に、大きな重いペット箱を手で持つのは大変な苦痛であるため、軽い布のショルダーバックにしたものである。肩に掛けて道搬するようにたもので、老人などでもペットの移動は、タクシーでなくてもバス、電車の利用を可能にするよう工夫したものである。上部が30網の窓にした事でペットとのコミニケーションがとれペットの不安をなくしたものである。ペットの医者への移動が崇になるものである。

[0002]

【従来の技術】従来ペットを移動させる時は、頑丈な箱い入れて遅んでいた。箱は手で待つが持ちにくく、重いため女性や老人には難儀であった。重い箱を遅ぶ事は箱が揺れて、ペットも揺れるため、ペットは箱をこわがり、箱に入れるのが難儀であった。バス、電車などの乗り降りには大変な苦痛であった。タクシーでの道院に財 46

[0004]

【問題を解決するための手段】 これらのための機想は、重い箱をやめ軽い布とハル

【図5】を使用した。バックの上部を大字で、飼い主の身近になり顔が見え、ペ減するため、このペット選びショルダー、ペットの不安を最小限にする亭が出来て、掛ける亭で手があき、乗り物でのペット・10 った。

【0005】バック上部2と構3にも窓。 気の流通も良くペットの苦痛を最小限に のとする。軽いショルダーバックにした。 としたペット運びショルダーバックであ。 【0006】底

【図4】とバックの半分下の構図方

【図3】はハッポースチロールに折れな! 紙など)を張った

【図5】軽いもので聞むものとする 【図3】。

[0007]

【発明の実施の形態】ペット移動箱を手 と、どうしても箱は揺れペットは不安が くて持ちにくいペット箱をショルダーに があき、バス、電車の乗り降りが、年寄 った。ペットの医者通いもタクシーを利 む。家を図字にして親戚へ行く時も、追 能になり、また郊外でのペットの散歩も となった。

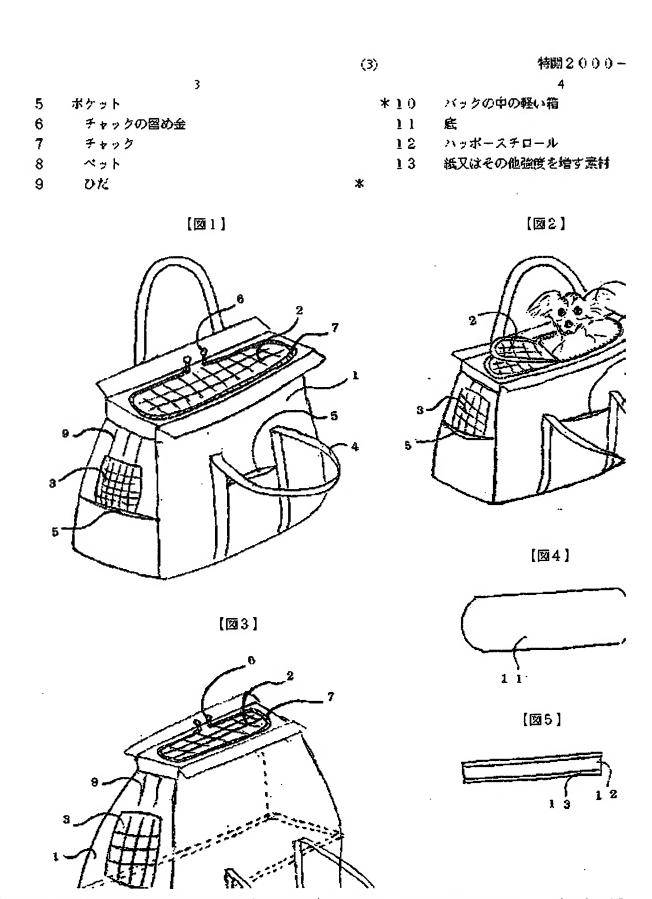
6 [0006]

【発明の効果】核家族になり年寄りの寂 くれるペットは、何かと費用が掛かり年 迫している。寂しさをいやしてくれる小 用で始末がつけれるように、年寄り自身 る事は大きな喜びである。天気の良い日 車で郊外の散歩も気軽に出来年寄りには 2

【図面の簡単な説明】

【図1】ペット選びショルダーバックの! 【図2】ペットをバックに入れた図

http://www4.ipdl.ncipi.go.jp/NSAPITMP/web012/20050411145028898766.gif 4/10/2005



http://www4.ipdl.ncipi.go.jp/NSAPITMP/web012/20050411145038933006.gif 4/10/2005